

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



保育研究協議会（公開研）迫る!

今、幼児教育に熱い視線が注がれています。「教育は、幼児期からスタートしなければならない」と言われているのです。

今年度も、県の内外から多くの幼児教育実践者の方々にご参集頂いて、共に幼児教育のあり方について学び合う機会を設けました。午前中は、本園の保育を見て頂き、それを元にしたグループ討議形式の分科会を持ちます。そして午後は、国立教育政策研究所の掘越紀香先生を講師にお迎えしてのご講演です。新たな扉を開く“幼児教育の向こう側”を、私たちはどのように見通して進めば良いのか、御示唆を頂きます。

現時点で参観の申し込みが180名を超えました。有り難いことです。まだまだ研究の途上ではありますが、多くの方々の忌憚のないご意見を頂きながら、私たち自身も更に保育の質を高め、力をつけていきたいと思ひます。

保護者の方には、「使命」とも言える附属幼稚園の研究についてどうぞお知りおき下さい。そして、何卒ご理解とご協力を下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

働き方改革との両立を目指して!

「働き方改革」という国の政策もあり、本園でも、限られた時間の中で保育の質を低下させることなく、日々の準備や研究をしていくにはどうすれば良いかについて考えています。附属は、教育現場の働き方のモデルを示す立場でもあるのです。公開研も、より内容を焦点化し、他園が取り入れられるよう「見える化」して発表します。変わらなないのは、より良い保育を求め続ける姿を通して、環境構成や援助のあり方を熱く語り合う姿があります。



タチバナ（橘）って知ってる?

この年令になっても、知らないことが一杯！年少さんのお庭には、

キンカンが植えられている・・そう思っています。ところが、つい先日判明したのです。あれがキンカンではなくタチバナだということが！味や香りはキンカンのように・・。子どもたちも喜んで食べました。

タチバナと言えば、おひなさまの段飾りにサクラと対に置かれる植物です。ああ、あれがこれだったのか！初めて知った！初めて見た！この年になっても、新しいことを知るのには本当に嬉しいことです。皆さんは、タチバナって知ってましたか？



年末、テラスに置いていた靴箱の職員の運動靴やスリッパの片方が相次いで行方不明になる事件がありました。こんな寒い中、夜中に忍び込む人があるなどは到底思えません。しかも、片方だけなんて・・・。年が明け、守衛さんに相談して見回りを強化して頂くなど対策を練っていたある日、一足の靴が木の上から見つかりました。捜してみると、屋根の上にも！立派なカギ状の歯形がびっしり付いた靴とスリッパでした。守衛さん共々ほっと胸をなで下ろしました。さて犯人は？



【附幼ミニ事件簿】
～だれの仕業か
わかるかな？～